

# 「宮崎市いじめ防止基本方針」を策定しました 子どもたちをいじめから守ろう！

いじめには、さまざまな形態がありますが、どれもいじめを受ける側に心理的、肉体的な悪影響を及ぼします。文部科学省の調査によると、いじめのパターンで最も件数が多かったものは「冷やかしかしやからかい」、次に「仲間はずれや集団による無視」となっています。また、社会情勢の変化に伴い「パソコンや携帯電話などで、嫌なことをされる」というものも現れています。

「宮崎市いじめ防止基本方針」は、こうした背景や現在の市の実情に  
「宮崎市いじめ防止対策委員会」は、専門的な知識や経験がある第三者（臨床心理士や元教員など）で構成する組織です。学校や当事者などから公平・中立な立場でいじめ改善に取り組みます。

全国各地で検証や対策が進んでいる「いじめ問題」。宮崎市でも、いじめの未然防止や早期発見に取り組むための「宮崎市いじめ防止基本方針」を策定しました。ここでは、その内容についてご説明します。

【問い合わせ先】 学校教育課 ☎21-1833

## いじめのパターン

- 冷やかしかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことをいわれる
- 仲間はずれ、集団で無視をされる
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする
- 金品をたかられる
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- パソコンや携帯電話などで、誹謗中傷や嫌なことをされる

参照：文部科学省調査結果

## 7 「宮崎市いじめ防止対策委員会」の設置

「宮崎市いじめ防止対策委員会」は、専門的な知識や経験がある第三者（臨床心理士や元教員など）で構成する組織です。学校や当事者などから公平・中立な立場でいじめ改善に取り組みます。

## 2 教育委員会の取り組み

学校訪問や教員の資質向上のための研修を行います。また、スクールカウンセラーなどを学校に派遣し、教員や児童・生徒の相談に対応できる体制をつくります。

## 3 学校の取り組み

学校ごとに、いじめ防止の基本方針を策定しま

す。また、児童会や生徒会を主体とした、いじめの根絶や命の大切さを呼び掛ける活動を推進します。

## 4 重大な事態への対処

いじめによって重大な事態が発生したときは、学校または教育委員会が調査を行い、調査結果を市長に報告するとともに、適切に対処します。また、市長は必要があると判断した場合に再調査を行います。

どんな人でも「まさかうちの子が…」と思われるかもしれませんが、いじめはどの子どもにも起こり得ます。日頃から子どもの変化や危険信号を見逃さないことが大切です。

また、いじめは大人の目につきにくい場所で行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりすることが多く、大人が気付きにくいことを前提として考える必要があります。ささいな兆候でも、「もしかしたら…」と疑いを持って早い段階からの確に関わり、いじめを隠したり、軽視したりするようなことなく、大人が積極的にいじめを認知していくこと。それがいじめの未然防止には欠かせません。  
子どもは大事な宝(財産)です。私たち一人一人が、「いじめを絶対に許さない」という気持ちを持って、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を見守っていきましょう。



保存版 いち早く見つけよう！

## いじめのサイン発見チェック

いじめのサインは、ささいな暮らしの変化に現れます。登校前や夕食時など、何げない日常にも気を配り、サインを見逃さないようにしましょう。

(参照：「いじめのサイン発見シート」/政府公報オンライン)

### 朝

- 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない
- 朝になると体調不良を訴え、学校を休みたがる
- 遅刻や早退が増えた
- 食欲がない。朝食を黙って食べる

食欲がなくなったり、黙って食べたりといったことは、言葉ではSOSを伝えられない場合に出る症状であり、重要な手掛かりです。



### 夕(下校後)

- ケータイやメールを過剰に気にする
- 勉強しなくなる。集中力がない
- 遊びの中で、笑われたり命令されたりしている
- 家からお金を持ち出す。必要以上のお金を欲しが

理由もなくお金を欲しがるのは、恐喝などのトラブルに巻き込まれているからかもしれません。学校に相談するようにしましょう。



### 夜(就寝前)

- 表情が暗く、家族との会話も少ない
- ささいなことでイライラしたり、物にあたる
- 学校や友達の話題が減った
- 理由をはっきり言わないあざや傷がある

学校が楽しくなかったり、仲間はずれにされていると、学校や友達の話題を変えたり、怒って話をこまかそとすることもあります。



### 夜間(就寝後)

- 寝つきが悪く、眠れない日がつづく
- 学校で持ち物が壊れたり、なくなったりする
- 教科書やノートに破損や落書きがある
- 服が汚れていたり、破れていたりする

夜眠れないのは、翌日の学校への恐怖感のせいかもしれません。また、物がなくなる場合は学校で隠されたり、壊されたりしている可能性があります。



## いじめをしていませんか？

誰もが「いじめる側」になることも考えられます。次のようなサインがその兆候です。

- 言葉づかいが荒くなる。言うことを聞かない  
思春期特有の行動ですが、学校での行動や友達付き合いにも注意。
- 買った覚えのない物を持っている  
入手先があいまいだったり、ごまかそうとしたりする場合は注意。
- 与えた以上のお金や物を持っている  
場合によっては万引きや恐喝なども疑われます。

### アドバイス

#### クラス替えなどの環境の変化に注意を

進級などによって子どもの環境が大きく変わる4月は、学校を楽しく過ごせる友達ができるか、気を配る必要があります。転校などの時機にも注意しましょう。

### 相談窓口

#### ●教育相談センター ☎23-1053

☎旭1-4-1 ☎9時～16時(土曜は正午まで)  
※来所相談は要事前予約。  
電話相談・来所相談可(土曜は来所相談のみ)

#### ●適応指導教室 ☎22-9674

☎鶴島2-18-9 ☎9時15分～16時  
※電話相談・来所相談可

#### ●青少年育成センター ☎22-7867

☎鶴島2-18-9 ☎8時30分～20時  
メール:45seisyu@city.miyazaki.miyazaki.jp  
※電話相談・メール相談可

もしかしてと思ったら…



子どもの気持ちに手を差し伸べてください。心配なことは学校へ相談を。

- よい相談相手になり、気持ちを受け入れる。
- 様子がおかしくても問いつめず、結論を急がない。
- 何があっても「守りぬく」「必ず助ける」と真剣に伝える。
- いじめている人が悪く、いじめられている人は悪くないと伝える。
- 「無視なさい」「大したことではない」「弱いからいじめられる」「あなたにも悪いところがある」「いじめられるほうが悪い」と言わないようにする。